



このたび、「現役法務と顧問弁護士が書いた 契約実務ハンドブック」と題する書籍を日本能率協会マネジメントセンター様から上梓させていただきました。

本書は、私と双子の弟である長瀬威志弁護士との初の共著となります。私は、顧問弁護士・外部弁護士としての立場でこれまで多くの企業様に関わらせていただいた知見を、長瀬威志弁護士はインハウスのローヤー（社内弁護士）としての立場で企業様に関わらせていただきました。

いわば企業の外部弁護士・内部弁護士それぞれの立場からみた、企業法務の視点を整理したものとなります。

契約準備→契約交渉→トラブル発生→解決まで時系列に沿って整理しているほか、法律意見書等のサンプルも掲載しております。

新しい分野を初めて担当することになった方、そしてこれから弁護士を目指す司法修習生の皆様に向けて執筆しました。

私自身を振り返りますと、企業法務と個人法務のいずれも担当する機会に恵まれてきましたが、いずれの分野を担当するにあたって、どのように進めていくべきかに悩まされてきました。

甚だ未熟者ゆえ汗顔の至りですが、弁護士登録間もない方や、若手法務担当者の方にとって、本書が少しでも企業法務を志す方々のお役に立つことができればと考えて構成しております。

本書は若手法務担当者や弁護士に向けて執筆したものですので、顧問先様をはじめ、皆様におかれましても、多少なりともお役に立つことがあるのではないかと考え、ご紹介させていただく次第です。